

Weekly Bulletin 2021-2022



RI会長
シェカール・メータ



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

静岡東ロータリークラブ

会長/川崎依子 幹事/長田きみの

事務局/静岡市葵区追手町2-12 静岡安藤ハザビル5F TEL054-254-5611

例会場/ホテルアソシア静岡 例会日/毎週 木曜日 12:30~13:30

<http://www.shizuoka-east-rc.jp>



会長
川崎依子

第2997回例会 令和3年10月14日木曜日

《司会》長田 きみの 君

《合唱》「我等の生業」

《ソングリーダー》大村 幸代 君

《ゲスト》なし

《ビジター》なし

《本日のお祝い》

・お誕生日

該当者なし

・結婚記念日

10月14日 山川 雅久 君

10月18日 由利 浩志 君

《会長挨拶要旨》川崎 依子 会長

鬼滅の刃。売れましたね。

先日、地上波で「鬼滅の刃 無限列車編」の放送があり、最後に煉獄杏寿郎が激闘の末死んでしまったシーンで私の孫娘2人がまさかの大号泣だったと泣いている動画を送ってきました。

私はまだ何も観ていないので語るのもおこがましいのですが・・・少年漫画のヒット作に共通している点としては「友情」「努力」「家族」「恋愛」「勝負」などだそうです。鬼滅の刃がほかの作品と異なるのは、「死」に向き合うシーンが非常に多いことなのだということです。ストーリーにおいて重要な役割を果たすキャラクターが次々と死んでいき、生きる価値を読者に考えさせる。キャラクターの死を含め、緊張と緩和が目まぐるしく繰り返されることも、読者をどっぷり鬼滅の刃の世界観にのめり込ませることにつながっているのだそうです。

やはり単調にならず、緊張と緩和の波を作り出すことが大切なんですね。緊張と緩和にあてはまるかはわかりませんが、営業で、強い調子でずっと話し続ける人がいたりすると聞いている方は疲れますよね。熱心さは伝わりますが。

人とのコミュニケーションにおいてもこの緊張と緩和、緩急の連続性や反復性には、人を引き付ける力があるようですから、うまく取り入れたいですね。

鬼滅の刃を観てみようと思います。

《会員卓話》

「外食産業の現状となすびのSDG'sの取組」

藤田 尚徳 君

1. コロナによる価値観の変化

これまでは、我々が持つ強みを活かし、コロナ前での利用動機を満たすサービスを展開してきた。コロナ禍の1年半の自粛や要請によりお客様の価値観は、

- フルサービス ⇒ 非接触・非接客
- コース料理 ⇒ セット料理
- 単品料理 ⇒ おまかせ料理
- フリー来店 ⇒ 予約来店

と大きく様変わりした。不要不急を避け、生きるための「食」所謂「日常食」しか許されない雰囲気となり、非日常食の需要が激減することになった。



2. 外食産業はインダストリアルトランスメーション！

お客さまの価値観が変わり、日常食の需要がメインとなったことで、これまで非日常食業態で10,000食を提供するには

100人 × 100組 または 200人 × 50組
など大人数と少ない組数という組み合わせで対応していた。
ところが、日常食業態では、

10人 × 1000組 または 4人 × 2500組
といった真逆の対応が必要になる。これはある意味でこれまでの経営の考え方の「金縛りを解く！」ほどの変革が必要になったことを表している。

3. 今後の選択肢

①社内のDX化

じっと待つという守りの選択はせず、DX化を選択。

②団体顧客から個人顧客向けの出店へ

タブレットオーダー、セルフレジ、調理ロボットの導入により個人顧客の志向に対応。

③フロービジネス→ストックビジネスへ

非契約事業から契約事業へ、箱もの商売から定期配達商売への転換。

④飲食で培ったノウハウの横展開

そもそも販売するものを変える。自社開発システムや周辺ツールの販売。

⑤ハイブリット経営＝二項動態

会社の付加価値を変えていく。二毛作、三毛作経営へのチャレンジ。

4. SDG'sの取組

1000年後まで世界文化遺産・三保松原の景観を残し、さらに三保松原の未来を創造していく Three Rings プロジェクトでは、毎週土曜日に三保松原保全活動を実施している。



現在、三保松原は枯松葉等が利用されないことで雑草等が生い茂り松に日光が当たらないことや、外来生物による病気

等で松枯れが発生している。そこで、

①毎週土曜日に松葉かき

②SDG'sの達成に向けたフリーディスカッション

③回収した枯松葉を利用した商品開発、松保全のための企画開発

④その売り上げの一部を「みほしるべ」に寄付

等のプロジェクト活動を通じ、集めた枯松葉を活用した商品開発により、地域資源を経済につなげる新たなエコシステムを構築し、世界遺産の景観を守る体験を県外の学校や企業の研修の場として提供、また回収した松を使ったイベント等を開催することで、静岡市唯一の世界文化遺産・三保の地を、会社や学校の外での「生きた学び」を得るフィールドへと進化させることを目指していく。

《スマイル報告》

・長谷川 泰 君

8日にパルシェが40周年を迎えました。これまでのご愛顧にお礼のスマイルです。

・栗木 良彦 君

本日、受付当番でしたが、時間を間違えて遅刻しました。申し訳ありません。お詫びのスマイルをします。

・加藤 力弥 君

例会再開を祝してプチスマイルです。

・新聞 桂子 君

遅ればせながら、皆出席のお祝いとお誕生日のお祝いをいただきました。ありがとうございました。

・相原 雄治 君

先週は誕生日のお祝いありがとうございました。健康に留意し頑張っていきたいと思います。

・山川 雅久 君

本日、10月14日が結婚記念日なのですが、留守宅に居る家内が所用で不在のため、花屋さんをお願いし、一昨日の12日に素敵なお花を届けてもらいました。家内も大変喜んでおりました。感謝を込めてスマイルします。

《出席報告》 なし

(会報作成 加藤 力弥)